

科目名	組織行動論1		
開講学期	1年次秋学期、2年次春学期		
教員氏名（カナ）	諸上 詩帆（モロカミ シホ）		
単位数	2		
授業実施方法	対面授業		
教育の実務経験の有無	無	ノートPCの利用	毎回の授業で使用
実務経験	該当なし		
キーワード	組織行動論、経営組織論、産業・組織心理学	アクティブラーニングの実施	有
授業の目的と概要	本講義は、組織の中の個人や集団の態度・行動のメカニズムと関連する様々な成果について産業・組織心理学、人的資源管理論、社会心理学などの知見をもとに体系的に理解した上で、組織の目標達成に向けた戦略的なマネジメント方法を探求することを目的とする。本講義では、主に、メゾ・レベルの観点からリーダーシップ論、公正理論に焦点を当て、組織の中の個人や集団の組織・態度のメカニズムについての理論や概念を修得すると共に、研究方法（主に量的なデータ分析）を学ぶこととする。		
到達目標	1	組織の中の個人の態度・行動のメカニズムとその成果との関連について説明できる	
	A+	自分の言葉で説明できる	
	A	正確に説明できる	
	B	大部分を説明できる	
	C	一部分を説明できる	
	F	説明することができない	
	2	組織的公正について分配的公正と手続き的公正の観点から説明できる	
	A+	自分の言葉で説明できる	
	A	正確に説明できる	
	B	大部分を説明できる	
	C	一部分を説明できる	
	F	説明することができない	
	3	組織コミットメントに関する因果モデルについて説明できる	
	A+	自分の言葉で説明できる	
	A	正確に説明できる	
	B	大部分を説明できる	
	C	一部分を説明できる	
	F	説明することができない	
	4	リーダーシップ研究の因果モデルに関連する文献を調べ説明できる	
	A+	自分の言葉で説明できる	
	A	正確に説明できる	
	B	大部分を説明できる	
	C	一部分を説明できる	
	F	説明することができない	
	5	リーダーシップ研究の因果モデルに関して統計的分析を元に説明できる	
	A+	統計的分析を元に因果関係について自分の言葉で説明できる	
	A	統計的分析を元に因果関係について正確に説明できる	
	B	統計的分析を元に因果関係について大部分を説明できる	
C	統計的分析を元に因果関係について一部分を説明できる		
F	統計的分析ができない		
履修上の注意	・15分以上の遅刻は欠席とみなし、遅刻2回で欠席1回とみなす。 ・欠席を3回以上した場合は、単位を取得することができない。 ・毎回の授業で課題を課すので、指定された期限内に提出をすること。 ・講義において必ず発言を求める。積極的な参加をすること。 ・授業内容は、学生の理解度に応じて変更することがある。		
教科書・教材			

基本方針	必須の教科書に加え、適宜重要な文献について紹介する			
必須/推奨	書籍名/資料名	出版社	出版年月	備考
必須	組織行動論の考え方・使い方 -- 良質のエビデンスを手にするために	有斐閣	2020年9月	
推薦	新版 組織行動のマネジメント	ダイヤモンド社	2009年12月	
	ワークプレイス・パーソナリティ論 人的資源管理の新視点と実証	東京大学出版会	2023年5月	
参考文献	授業内で適宜紹介する			
ディプロマポリシーに掲げる能力と授業の対応				
ディプロマポリシー（大分類）				対応
D1	社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を見出す能力			
D2	課題解決に役立つデータサイエンスに関する汎用的な知識とスキル			○
D3	(1) の能力を起点に (2) を重ね合わせ、社会・企業・組織が持つ経営上の課題、社会的課題を具体的に解決し得る方策を導き出す能力・スキル			◎
D4	(3) で得られたソリューション（解決策）を社会等に訴求すべく具体的に働きかけるコミュニケーション力と行動力を備えたスキル			
D5	データ社会にあって (1) ～ (4) の一連のプロセスで発生し得る倫理上の課題を適切に認識する能力を備えたスキル			
成績評価方法		課題 4 0 %、発表 6 0 %		
試験・レポート等に対するフィードバック		授業内でポイントを示し解説する		
授業時間外の事前事後学修				
	内容			学習時間
事前学習	課題をまとめる			2.5 h
事後学修	授業内容ならびに課題のフィードバックを踏まえ改めて自身でまとめる			2 h
授業計画				
1	イントロダクション：組織行動研究を俯瞰し、学際的位置づけを理解する			
2	組織行動研究における態度的成果と行動的成果について理解する			
3	集団の影響力、集団における意思決定の特徴について集団のダイナミクスの観点から理解する			
4	組織コミットメントの概念を学び、先行要因と成果との関連について理解する			
5	組織的公正について分配的公正と手続き的公正の観点から理解する			
6	心理的契約が組織態度や組織行動に与える影響について理解する			
7	リーダーシップ研究の系譜を概観し、リーダーシップを解明するためのアプローチについて理解する			
8	発表①：学術論文を読み、フォロワーとの相互作用の中で起こるリーダーシップの影響力について説明ができるようにする			
9	発表②：学術論文を読み、フォロワーとの相互作用の中で起こるリーダーシップの影響力について説明ができるようにする			
10	リーダーシップ研究①：リーダーシップ研究のテーマを決める			
11	リーダーシップ研究②：仮説を立てる			
12	リーダーシップ研究③：データ分析をする			
13	リーダーシップ研究④：仮説検証結果をレポートにまとめる			
14	リーダーシップ研究⑤：研究成果を発表する			
SDGsとの関連性				
3. すべての人に健康と福祉を 8. 働きがいも経済成長も				